

## 学会誌電子化に関するアンケートのお願い

長引く景気の低迷による学会収入の漸次減少のため、学会の活動として、会員の皆様へのサービスを今まで通り継続してゆくことが困難になってきています。図 1 に財政状況の変遷を示しています。会員数は長期的な減少傾向にあり、それに伴う収入の減少が財政圧迫の主な理由と考えられるため、構造的な対策が必要になっています。現在、経費削減のため、様々な方策を講じているところですが、その一環として学会誌電子化の検討を開始しました。図 2 に学会誌を電子化することによる経費の見積りを示しています。学会誌は、主に編集製作費、印刷費、配送費の 3 つに分類でき、電子化率(冊子体を作成・配送しない割合)を上昇させることで支出削減が期待できます。特に、完全に電子化した場合、第 91 巻 12 号を元にした試算で、年間 850 万円から 280 万円へと収支改善に大きく貢献できると予測しています。逆に完全電子化以外では、経費の削減効果が小さいことも明白です。

学会誌の電子化につきましては、現在インターネット環境の充実化に伴い、学会誌を電子版(PDF 版)で閲読している会員も多くなっていると予想されます。また学会誌を完全に電子化することによって、原稿のカラー化やビデオコンテンツへのアクセスなどが容易になり、経費の節減だけでなく、学会誌の一層の充実が期待できます。他方、現在の冊子体の可読性の高さも指摘されています。

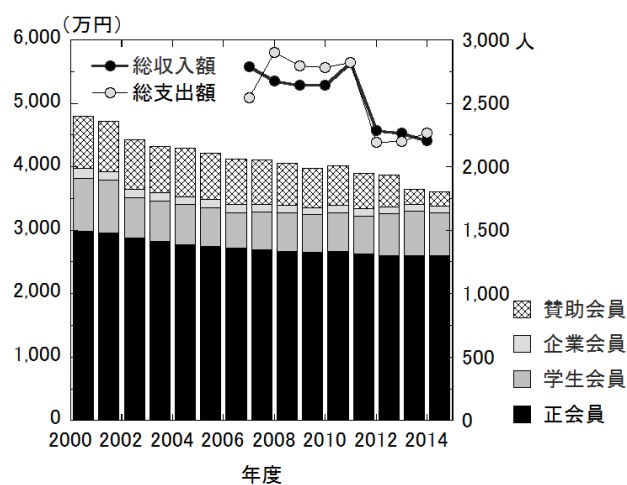


図1 2000年以降2014年までの財政状況の推移

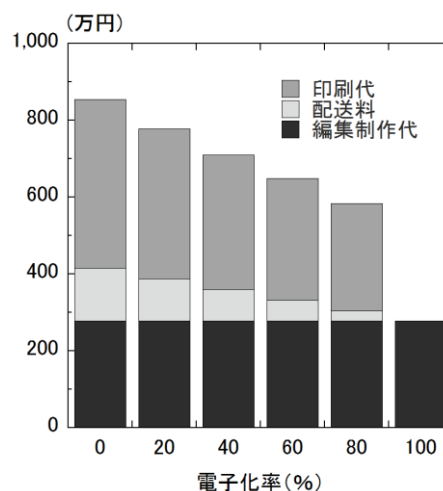


図2 電子化による支出削減の効果

今回、会員の皆様に学会誌の電子化に関するアンケートを実施し、現在の会員皆様のニーズ動向やご意見を頂戴したいと存じます。

ご協力を宜しくお願い致します。

裏面のアンケートにご記入下さい。

